

かわさき区の宝物シート

宝物No.	さくらもとしょうてんがい にほんのまつり		
20-1	桜本商店街日本のまつり		
エリア	田島地区	シーズン	秋
	桜本・浜町	日時	11月第3日曜日
目的	<input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input checked="" type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物		



写真提供：桜本商店街振興組合

所在地	川崎区桜本1-8-6 (桜本商店街Lロード界隈)	マップ
問い合わせ	桜本商店街振興組合	
TEL	044-266-1307	
FAX	044-299-3004	
E-mail	lrroad@tky3.3web.ne.jp	
URL		
交通	JR川崎駅よりバス「桜本」下車すぐ	

基礎情報

■桜本商店街で行われる地元密着型のお祭り。桜本商店街振興組合が中心となって毎年秋（11月第3日曜日）の2日間にわたって恒例の一大フェスティバルが開催される。商店街内の通称「Lロード」では様々なイベントが繰り広げられる。1日目は商店街をあげて“30年前の価格に挑戦”と銘打ったタイムスリップバーゲンが催され、店頭には格安品がずらりと並ぶ。午後2時スタートで売り切れになり次第終了となる。2日目は「日本の祭り」。Lロードがお祭り会場へと様変わりし、御輿練りやブンムルノリ（韓国・朝鮮の伝統能楽）をはじめ多彩なイベントが目白押しとなる。

由来・エピソード

■桜本は在日韓国・朝鮮人が多く住む地域で、彼らと地元の日本人が共生できるようにと以前から様々な取り組みが行われている。「桜本商店街・日本のまつり」は地域の人々が一緒にふれあい楽しみながら、これからの桜本商店街振興組合の進むべき姿勢の内外へのアピールという目的のもとで開催されている。

■日本の祭りといえば欠かせないのが伝統の神輿練り。男性も女性も一生懸命に御輿を担ぎ桜本商店街を練り歩く。在日の韓国・朝鮮の方々による「ブンムルノリ」ではチャング（韓国の代表的な打楽器）の演奏や美しい踊りが披露される。この他、和太鼓演奏やフィリピンの民族ダンス・バンブー、さくら小学校の鼓笛隊演奏やミニ動物園（ポニーやうさぎとのふれあい）、ハーレーダビットソンパレード、一輪車パレード&演技、ブレイクダンス、韓国・中国・フィリピン・ブラジルなどの模擬店、フリーマーケット、くじ引き抽選会など国際色豊かな各種イベントが盛りだくさんで、毎年多くの人出でにぎわっている。

■また、商店街のシンボルとなっている「桜本九福神」の全てのスタンプを集めると、自転車等が当たる抽選会に参加できる。九福神とは、大きな幸福を招くために、生誕の1999年を記念して従来の七福神に新たに創案した「上向小僧（うわむきこぞう）」と「招福天（しょうふくてん）」の二神を加えたもの。上向小僧は子供の頃、桜本に住んでいたという坂本九の大ヒット曲にちなんでいるという。

補足・その他

■桜本商店街振興組合では、昭和58年(1983)と平成11年(1999)にそれぞれ大規模な第一期・第二期近代化事業を実施した。大型店の出店反対運動に端を発した第一期事業ではコミュニティセンターとショッピングモールが完成し、この時から「日本のまつり」がスタートした。第二期事業はバリアフリーに配慮した“歩いて暮らせる街づくり”が実現。モールの段差の解消とおしゃれな煉瓦舗装への改修、桜本の地名にちなんだ街路灯、美しいデザインのメインアーチ（白虎門）とサブアーチ（朱雀門・青龍門）の改修、ポケットパーク整備、そして「桜本九福神」の生誕など様々な演出が施されたことで街が活性化するとともに、商店街で催される多くのイベントもパワーアップしたという。

■平成20年(2008)にドラマ化された「ハチミツとクローバー」のロケ地としても知られている。

関連シート

(20-2)川崎市ふれあい館
 (20-4)コリアタウン
 (20-5)韓国朝鮮料理
 (32-5)坂本九